

川辺高等学校知覧神戈陵会開催された



平成 22 年 10 月 8 日(金) 18:30～、川辺高等学校知覧神戈陵会が「ふるさとプラザ さくら館」で開催されました。

司会が坂元恒太(平成 8 年卒)さんで、まず旧制川辺中学校校歌を全員で斉唱した。松久保正毅(昭和 47 年卒)地区会長の話の中で、16 年ぶりに当会が復活したと聞き皆驚いたようでした。前野同窓会長の代理で出席した宇都和久(昭和 53 年卒)同窓会副会長は、募金の現状を述べ、「川辺高校はよかど。かわなべへ行けよ。」の声掛けをして欲しいと述べた。神田芳文校長は募金の入金状況に対するお礼や学校の現況、そして地元の中学生在が来てくれるような学校づくりをしていきたいと述べた。

乾杯は蔵元泰正(昭和 53 年卒)知覧商工会長がされ、全員懇談に入った。あちこちで膝を突き合わせた車座になり、出席者 60 名近くの人たちが母校での青春時代当の話題で花が咲いた。会もたけなわの中、全員起立して川辺高等学校校歌を斉唱した。

最後のあいさつは市坪正昭(昭和 41 年卒)地区副会長で、同時に万歳三唱をしてお開きになった。その後も数名の人たちが座りなおして夜遅くまで話し込んでいた。

(文責 長野)

2010 年 10 月 08 日 登録